

まほろば秦野通信

平成28年5月11日

秦野市市長公室広報課

タイトル	平成28年熊本地震を教訓に 秦野市災害対策本部 地区配備隊を再編
When (いつ)	5月10日(火曜日)
Where (どこで)	秦野市役所 本庁舎3階講堂にて任命式を挙
Who (だれが)	秦野市災害対策本部長(市長)が新規隊員53名を任命
What (なにを) How (どのように) Why (なぜ)	<p>平成28年4月1日付けの人事異動等に伴う、地区配備隊の再編に当たり、4月14日に発災した「平成28年(2016年)熊本地震」の避難所運営の状況等を踏まえ、避難所への住民の集中、避難所開設の長期化などにより、地区配備隊員の健康状況にも配慮する必要があることから、従来、地域に密着した災害対応を行うため、避難所近くに居住する職員を中心に任命した隊員を市外在住の職員についても任命することとした。</p> <p>また、地区配備隊員数198名を17名増の215名(うち、女性を51名から63名へと12名増員)とし、9地区23か所の広域避難場所に配置することにより、災害時に避難所運営がより円滑になるよう体制を整えた。</p>
過去の実績	地区配備隊は、昭和53年に大規模地震対策特別措置法が施行され、東海地震や神奈川県西部地震の発生が予想されたことを受け、81名体制で発足。平成7年に発生した阪神・淡路大震災を教訓に、段階的に班編成の見直しと隊員の増強を行い、平成13年からは、きめ細やかな避難所運営を行うため、女性職員を避難所班員として配備している。
今後の取り組み	避難所ごとに地区配備隊員が備蓄資機材の点検を定期的に実施し、災害に備える。また、8月28日(日曜日)の総合防災訓練では、各避難所での訓練を実施する。
問い合わせ	市長公室 防災課防災担当 電話0463(82)9621